

# Les Ressources trimestrielles

## - Printemps 2016 -

### Le film coup de cœur ♥



『8人の女たち』 2002年、111分

監督：フランソワ・オゾン

『しあわせの雨傘』や『17歳』等の監督として有名なフランソワ・オズンを、皆さんはもう知っているかもしれませんね。

『8人の女たち』は、1950年代を舞台に繰り広げられる、アガサ・クリスティ風の推理映画です。

カトリーヌ・ドヌーヴ、エマニュエル・ベアール、イザベル・ユペール等の華やかなキャスティングに、どこをとっても驚くべきストーリーで、ラストはそんなことが....、という感じです。だんぜんお勧め！

### A écouter à tout prix ♪



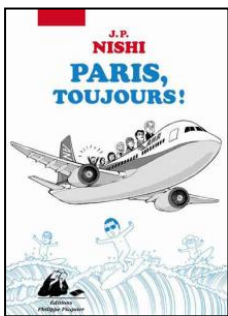
『Grand angle sur Nougaro』

作詞作曲歌：クロード・ヌガロ

このCDアルバムで、才能あるフランス人のシンガーソングライターであるクロード・ヌガロをご堪能ください。

トゥールーズ出身でジャズを愛するヌガロ。「Toulouse」「Nugayork」「Tu verras」「Armstrong」等の素晴らしい歌を作曲、歌っています。

### La BD du mois 📖



『PARIS, TOUJOURS!』(パリが呼んでいる) 2014年

著者：じゃんぼ〜る西

フランス語版『パリが呼んでいる』では、パリでの生活だけではなく、初めてマルセイユに行った時のことも面白おかしく描かれています。

気晴らしに、文化的発見やリラックスしたい方、『パリが呼んでいる』をぜひお読みください。

### Le livre du trimestre 📖



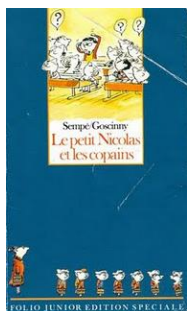
『L'Art presque perdu de ne rien faire』 2013年

著者：ダニー・ラフェリエール

この本は、私達を世界の(再)発見へと誘うものです。ダニー・ラフェリエールは、ハイチ出身の偉大な作家ですが、この作品では、彼自信の考えや意見、感情といったものを私達と分かちあおうとしています。『L'Art presque perdu de ne rien faire』は、読んで、考えて、見て、熟考することにかかるかということ、つまり「生き方」を教えてくれる内省的考察の短編集。

この本を読めば、無関心ではいられなくなるでしょう。ぜひ、熟読を！

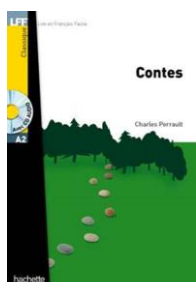
## En français facile



『**Le petit Nicolas et les copains**』(プチ・ニコラと仲間たち) 1963 年  
文：ゴッシーニ 絵：サンペ

サンペのイラストも楽しい『プチ・ニコラ』は、青少年向けとは言え、半世紀以上前から、老若男女関係なく読まれているフランス文学の古典中の古典です。ニコラとクロテル、アニャン、ジョフロワ、アルセスト、マリー＝エドウィージュといった仲間たちが繰り広げる世界をお楽しみください。

## Pour les petits et les grands... et



『**Contes de Perrault**』(ペロー童話集)

著者：シャルル・ペロー

有名なペローのお話しをもう一度読んでみませんか？また、読むだけではなく、付属の CD で朗読を聞いて楽しむこともできます。

収録：『赤ずきん』『愚かな願い』『シンデレラ』『眠れる森の美女』『青髭』  
『おやゆびこぞう』『長靴をはいた猫』『ろばの皮』



## Le DVD

Gaspard et Lisa

『フランス語 de  
リサとガスパール』

<http://afsapporo.jp/>

  
Alliance Française  
de Sapporo

